

栄養科より



HAPPY VALENTINE'S DAY♡

♡栄養師♡
エネルギー 725kcal
たんぱく質 34.6g
脂質 26.3g
炭水化物 83.6g
食塩 3.3g

♡メニュー♡
海老クリームパスタ
トマトオムレツ
さつま芋のサラダ
ハートのどら焼き

常食

バレンタインと言えば「チョコレート」を思い浮かべる方も多いと思います。日本では女性が男性にチョコレートを贈りますが、欧米では恋人や友達、家族などがお互いにカードや花束、お菓子などを贈るそうです。

常食デザート
「ハートのどら焼き」はチョコクリームが入っています♡
ささみ食・ペースト食のデザートは「チョコムース」です♡

きざみ食

ペースト食

病院行事紹介

2017年12月16日

ヒルトン名古屋にて忘年会を行いました。



外来診療担当案内

		月	火	水	木	金	土
外科	午前		花井	院長 伊東 安田		院長 梅木	院長 森垣 浅野
	午後		院長 鄭	神尾		梅木	
整形外科	午前	中川 兒玉	早川 安藤(月1回)	兒玉	中川 木村		
	午後	中川 兒玉	兒玉	見松 安藤(月1回)	中川 木村		
脳神経外科	午前			熊井			
	午後					熊井 加藤(月2回)	
脳神経内科	午前		高津			高津	高津 (隔週)
	午後						
循環器科	午前	星野 天野(隔週) 櫻井(隔週)					
	午後	高木 天野(隔週) 櫻井(隔週)	宮島			長坂	
内科	午前		浅田				早川 (隔週)
	午後		浅田		渡邊		
呼吸器科	午前			梶井			
	午後				渡邊		
皮膚科	午前						
	午後		白田			湯浅	

医療法人 明和会 辻村外科病院

〒448-0001 愛知県刈谷市井ヶ谷町桜島20-1
Tel(0566)36-5200 Fax(0566)36-5561
<http://tsujimurageka-hp.com/>

発行日：2018年2月20日 発行者：辻村外科病院広報委員会

広 報 つじむら 第 2 4 号

基本理念

Smile&Harmony
～明るい笑顔と調和～

基本方針

- ・いつも明るく患者様の満足を常に考え、医業に専念します。
- ・地域に働く人々及びその御家族の幸せを第一に考え、信頼される調和のとれた病院を目指します。
- ・同じロマンを持つスタッフが一丸となり得られた成果を社会に還元し、医療の質向上に努めます。

患者様には以下の権利と責任があります。

- ・個人としてその人格を尊重され、適切な医療を平等に受ける権利があります。
- ・病名、病状、予後、検査と治療の内容と危険性、薬の効果と副作用などについて十分に理解できるまで説明を受ける権利があります。
- ・治療法など自らの意思で選択する権利があります。
- ・個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
- ・これらの権利を守るため、患者様は医療従事者と力を合わせて医療に参加、協力する責任があります。



ごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

日頃は病院運営にあたり格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

広報誌24号の発行にあたり一言ご挨拶申し上げます。

現在では、インターネットを利用して情報収集するのが当たり前の時代となっており、ホームページの持つ重要性が大変高くなってきております。当院でも以前からホームページを作成しておりましたが、この度ホームページの内容を時代やニーズに即したものにすべく、全面的に改訂いたしました。ぜひ一度ご覧になっていただきます様、お願いいたします。

さて、本年、当院は開設より50年の節目の年となります。病院の開業日である秋には、地域の皆様を始めとして日頃よりお世話になっている関係者の皆様に感謝を申し上げる場を設けたいと思います。

50年の歴史を背負いながら、日々病院運営に邁進していきたいと考えておりますので皆様方には、今後ともご指導・ご鞭撻賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

平成30年2月

医療法人 明和会 辻村外科病院

院長 辻村 亨

病気の説明シリーズ Vol.24

高 血 圧 1

高血圧について2回にわたり説明していきます。
1回目は「血圧」について説明します。

(監修:院長 辻村 享)

血 圧 と は

血圧とは、「心臓から送り出された血液が、動脈の内側を押す圧力」を指しています。私たちが日常的に計測しているのは、体の中に張り巡らされている血管の中でも、大動脈など特に太い血管の内圧を測定したものになります。

血圧は、心臓の拍動数や収縮する力、循環している血液の量など様々な因子が複雑に絡み合っているため、「なにが原因で血圧が上がっているのか」について特定できないことも多くあります。

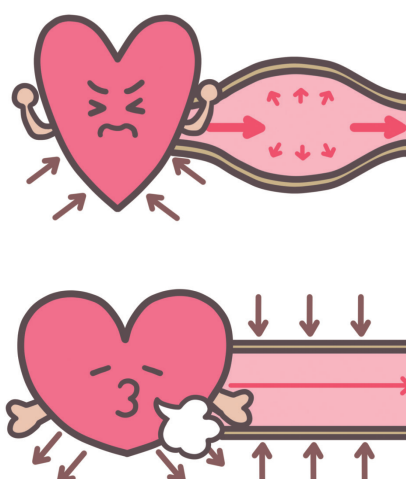


収縮期血圧と拡張期血圧

血圧を測定するとき、必ず2つの数値が記入されているかと思います。なぜ、血圧は2つの値を使用するのでしょうか？

心臓は、常に収縮と拡張を繰り返すことで、全身に血液を送り出しています。心臓が収縮して血液を送り出すとき、血管の内圧は最も高くなり、反対に心臓が拡張して血液を送り出さないときは、血管の内圧は最も低くなります。

このように、心臓の動きによって血管の内圧は常に変動しているため、2つの数値のうち、最も高い値を「収縮期血圧、または上の血圧」、最も低い値を「拡張期血圧、または下の血圧」と呼び、測定を行っています。



高血圧と診断されるには

血圧は、電子式血圧計の登場により、近年では自宅でも簡単に測定できるようになりました。そのため、たまたま測定してみたら血圧が高かったために、「私って高血圧だったんだ」と思ってしまう方もいらっしゃるようです。

高血圧の定義として、「繰り返し測っても正常より高い場合」を言います。一回の測定で高かったから即高血圧と診断されることは、ほとんどありません。高血圧というのは、「血圧が高い」という一つの症状です。そのため、たまたま測った血圧の値が正常値よりも高かった場合、「血圧が高い」とは言えますが、「高血圧だ」とは言い切れません。

次回は治療法について説明します。

お知らせ

2018年2月19日 ホームページをリニューアルしました。

様々な情報の取得にインターネットを利用される方が増えたため、皆様により多くの情報をより分かりやすく知ってもらえるようホームページをリニューアルしました。

スマートフォンを利用される方も増えたため、スクロールしやすい縦長のページ校正としました。

またパソコン、スマートフォンのどちらでアクセスしているかを認識し、自動でそれぞれに最適な表示を行う仕組みを取り入れました。どちらのデバイスを使用しても見やすいページとなっています。

利便性が向上したホームページを利用して皆様に有用な情報をより迅速かつ確実に提供していきたいと思っております。ぜひご活用下さい。



<http://tsujimurageka-hp.com/>

「明和会 辻村外科病院」
で検索して下さい。

